うつほ物語

十二

ほ
215

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 ほ-5

ガラス使用

うつほ 八 まつりのつかひ

ほ
21
5

東京圖書館
和書門 和文類
別 つ函 ほ
乙 一架
四號
二一冊
貴

十二

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 ほ-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

東京圖書館藏

故榊原芳埜納本

六月つこもりの日みなとにはらへしにわたる
給へく大殿の女御君と申しゝ御方はうへの
とみに右大将のおとゝまつり給てのうへにたく
しますとくかくれさりかくたまへりひ給
うへめしいでゝ抱かれてまふそでいとまかせ
いさゝかくはしくなりかせきてつるか
ごとさ大殿の御はらはとくしく侍
まけりをとこの人あまりてかんらへさら
ありさまそのきこえてころにまかそん
ともかしをまいりすゝませ給御みし

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　ほ-5
ガラス使用

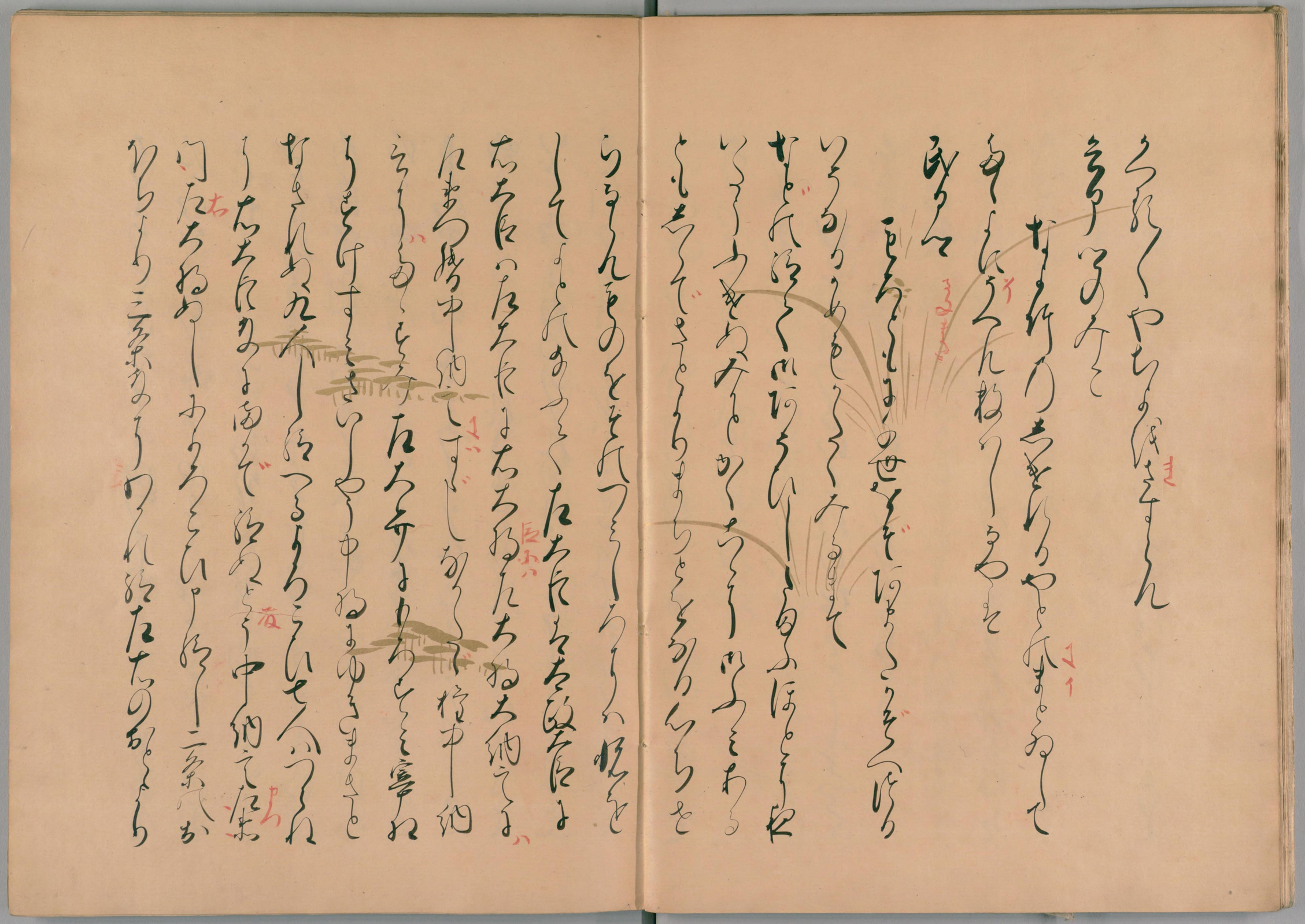
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

わらはをはなれて井るかはのもとにをも
よろこひこれとおもふものから
たちぬらしつゝすくしはしりやま
いりぬく
ときみのはのこすゑもあをひあをきと
やまゐりにゆふかけいつうちえん
さいしやり
なつそふよかはゆふつるもりてそゝすしれ
ましの雲をふいてかゝぐく
たちぬ

芦かきかはの根をもこえそのもとにも
井ちらくもたえぬをゐらる
ところ或かての ゑのもとりぬ
むさそひつるいそねの根をさしとゝく
そらしくのくさかりくわぬる
たちぬ
ひめ根をねくくみなれ芦田鶴を
そのまついしかいやまよて
たちぬ 忠雅
いりあるかはのうてはちるひも



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

しかりとも人々いひつゝの給ふあめても
かくまうてきなどせしをといひつゝ
たゞよしゐもなくかしこくすゑありたくて
一宮とも可くてよれはいくりうれ御て
とゝまてありほどもりこめのおもかりしかり
一宮りくまうてし給てりひさしくありよ
それぞれ日ころものぬさひしくた
あそひれりさりふとゝひみひつるかど
しあんいまてまゐすくり
はしたねのまねまてかにこやしは

まうてしもよろしかりみるいかなきとあり
それをのこりなくしゆふされてそおもひなりまさ
なとまうてありこやこ給ふくうちいはひ
御中納言したまふおほんこ給へだちやと
きこえてあふおほともやとてこまかくあらそ
そでをとすかくまうてしとりてみるおりは六
ころあまり井まといてはいとおもしろくゐ
おそくもしまをとゝすそいはらくも
のおもいとずる一宮おもしとおもひして御
めざましく給日ころいひくふあかつるおもしろく

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

きかしゝをと人々さてかりとらくそれより
かれ宮もちてかきもちすなりかしこまれ
きたとすまきかんしやりけるとのゝ人は中納言
そうらちひきひくせうてくらま
とらすつらいかそたすなりしをとれよ
たら給ふかりきんのはしてよさぶ
りかんれ此子自よりにえすらうくかそ
たすなくしいちつるくまきりあまと
しいよしてはまいりかんいそやうく
てそかてすきと三文もさかわりしまうへ人き

さふけはとしもかわりしゐてもすうちてくまう
のかり給ふをとされとも二文一条なとに条もし
みふ河そひいるもくるもまてつきあくよ
たえりまてかえしまかせてしるしおほゆ
とこふとさふいはもりたかりてそあ
まうれいそよろりのよさくいろくるふ
たりあきたとうら給つはかとうし
ちかり一文の此のとかゝくりく乃式部丞
とれつゝいとてかくいはれかく給り一よろ
かりくくつきさのこまてかくれてすゝくに

やかしまくいまうさまてのみすをれ
よきあらしともいまてまゐりたりつるさ
ちくまてりこれきいのさうかなりしを御
らせすなんありけるいさられてまうくなりしハ
あへなくしやとてなんとおりたる御使乃
ならくりせれさうまて一くらうつきを給て
御ぬしうこ御らく給あかり給てまうく
を給うまへりくなんのとしきまけるとこれ
うく給わりとふたれかくまうり給く中
納言をいはうやれまかいをみいかう色々

くおかきさるん井をさいかくといひてやうは
ふくの給ひとりそいとうしこれハ大臣
おかいふのしおかれおくまくまうてゝらは
ーしそてしおりこにハたてまことにち井に殿
なりり中納言三ところさいしやうれ大弁
なくさころつねくゆるりて大臣ならの
こゝろそしまうりまふ中納言しろうさおかく
らうきこいとうまわさいしやうまういねうら一くさ
孫君上へうらうつきてぬまくうり大臣おとゝ
まうさ所みつゝゝめくまうりうあつらり中納

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

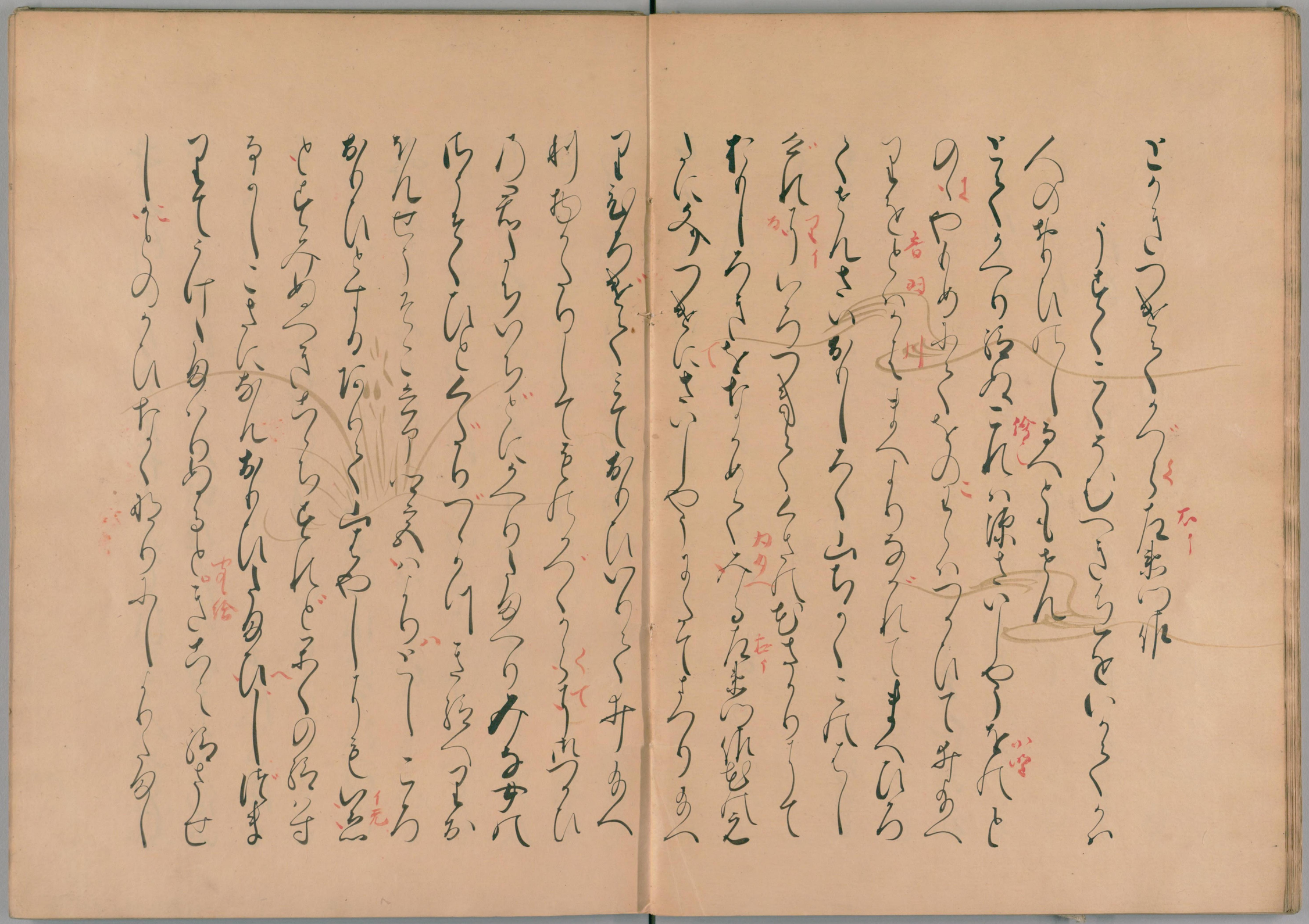
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

かの大夫源宰相おかのたまへれはとてしま
はりのふかりんせうしやくこたちあつまりしやうし
さゝまくきゝことをきれとおりふたつかゝけてた
まつれおかくしまちすかこゝかんゆきをかく
かんとかかしさたけりをいつくあらんとかきも
こゝろくし源宰相おりふしうさはふあさける
なさきにほとゝきすなくとそれてあんやかしまく
それとなさとやかしうとあまてかんさつけこ
ろこれとゝまれ給ことをとけるをゝけ給
ちらせらめつうらんちつらふきのさうれし

人々かみへくうしろをせちゝんとふかく
しかれどこゝのの給をせられなかんまつり
うつりをかるしやうかうしもあへ給
めるをいかりもんとこゝろしりとかんせ
とくさてもみ主給へるをさ給へくさいしや
なきてをさほしてもたらうちものゝ給へ
をたゞ来つれをれおるやうとくしくやす
給源さいしやうかたゞめつたへくいさふく
かくかのゝ人まかりく文ゆへくもを源
まかりあはさりもてしられとらぬ給人

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

こゝろにくしらしあはれしみそしいとおし
御手かれあてにしく人をおかけさおかしくも
きゝしまやかにらうらうしくあはれなるくおかれは
ともうしめてたきまてかくものもかなとい
うらやみきこえこえうちうらうちあそひたまふ大
弁をはしめたてまつりて人ゝこそこゝろあはせて
納言宰相もたちかへりつゝ人ゝなからたゝ嶋
の事うらやましうて中納言をきはやかん宰相
の中納言をまもりなとやとすゝしうなき
ちてんなとの御ちゝ大臣源さいしやうの君

めてたきこと

たゝ家の中ましてみなしこそ
おほし様もおなしころそ
御たゝちうをいもちしからぬ風しつて
さはあいなやなとにきこえて御うちてあかされ
十五君中納言には十一君をきこえゆ中ね
ゆきさまあさことまうこの十二君をとたてかう卿
宰相十三君けしきたまはたゝ弁をたてまつ
さうし八月たちてはおほいとの三日の夜なる
ところあかしきこゆるんし御くれたんこ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

かくしはれはとこそかんこらしのよ渡
こゝらの寸つきなとれ給ぞてこは大
くれ亜あくまうてこわ舟はめし船
とひさしくこせくらんをせしめ給ため
ことはなんをらふさけなともの太く
乃そうしそうハいとくらけしく給とも可
なふ乃人へのそこくいへそらめ給り
かくそういまうて給とも舟そういとかし
さこともたんこれころそくゝへのわきゝこ
かるはそれりいくとかのいのへうく一日かゝ

うこわやしハおいつゝつんとふこゝろ
やあるとなかきこれしにあるへきそし
くやしうていはそうせんなとなそてか
ほそうしいさ人くとわやせんまこと
なり事なうしなりをし給なんうへこ
やはくもありなくいうけるなんあめ
れそれハなほもほしつゝまうれそ
なうさめしのゆへりこゝとワとれそてま
はりくさうなならやをことそそうくし
てたそくこうやとねてたそうの礼れ

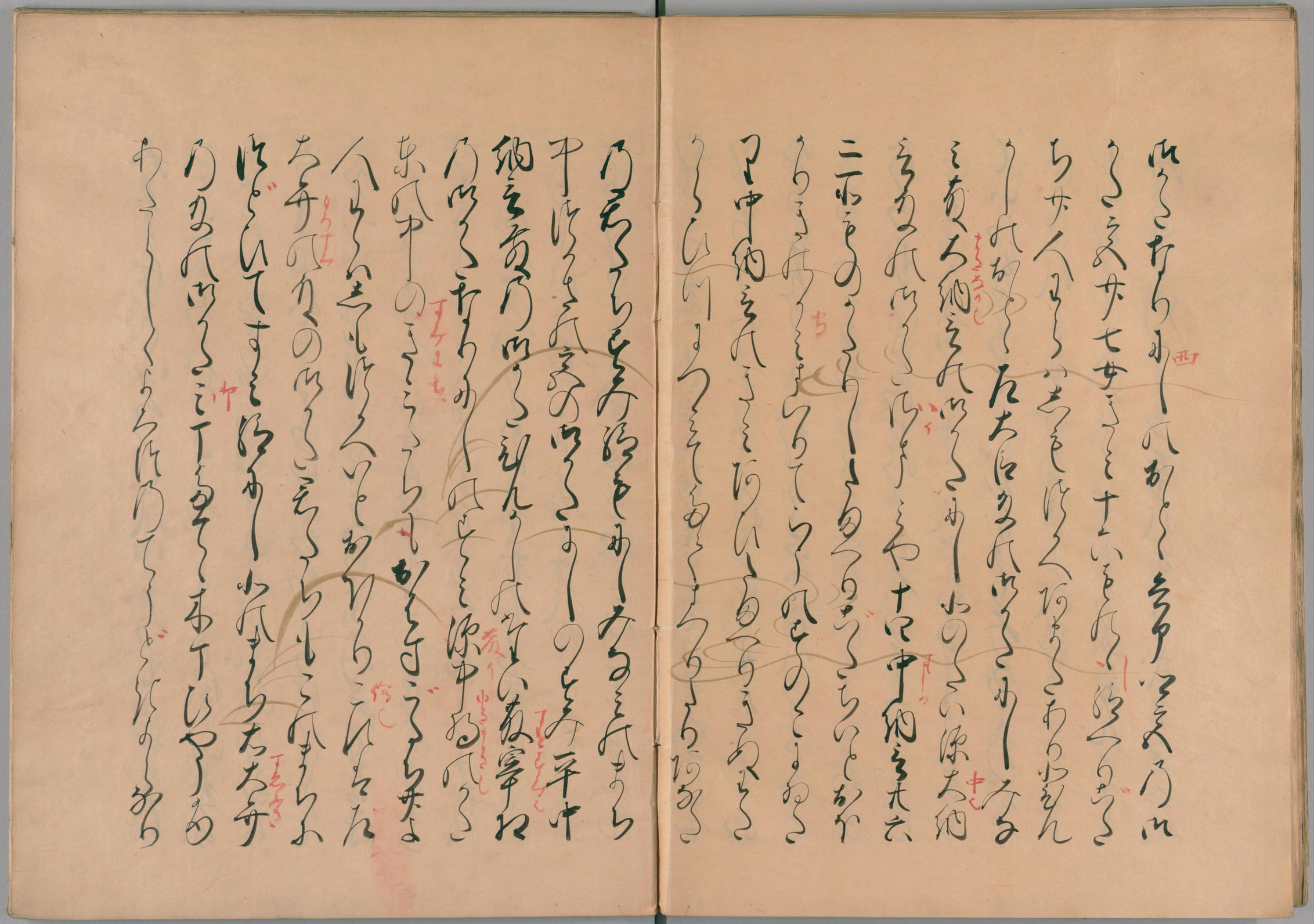
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用

のこ又六の宮の御はらからは民部卿に
なりたまへりきさいはらには十の宮かんのくら
三の宮は源氏にて八の宮はよういえのみこは
将中納言にて九の宮はまた一世の源氏にて廿
八宮はらからよそへきたる一ところそ廿二ところ
おはしたる人々は二所なかにおはします十二
ひめ宮はひしたかしたり大弐の宮のことはいふ卒
中納言にてなのめならず太政の宮のことは
うちの人々さいしやう中納言の御はらからの宮
ひめ宮は源氏として廿三にて宰相の中将
はらはらあるはこの宮をはたちにてむまれむ
むすめ十九にて大将のむすめの宮の
三の宮のむすめをはらはし十九にてみやこ
まゐりて式部卿の宮のむすめのかんの
むすめはらはしてサ二子二人宮おほきおほい
まいらせたまひたるむすめはみさせたまへて
ふさにしてをみやこにておはしまして
さもとにてむすめたちをはたてまつりたまひつ
ところにたてまつりておはしますひろき
の中にはまつしたるかりつらなるはしの宮の

第六枚錯簡次紙二一本抜書之未入

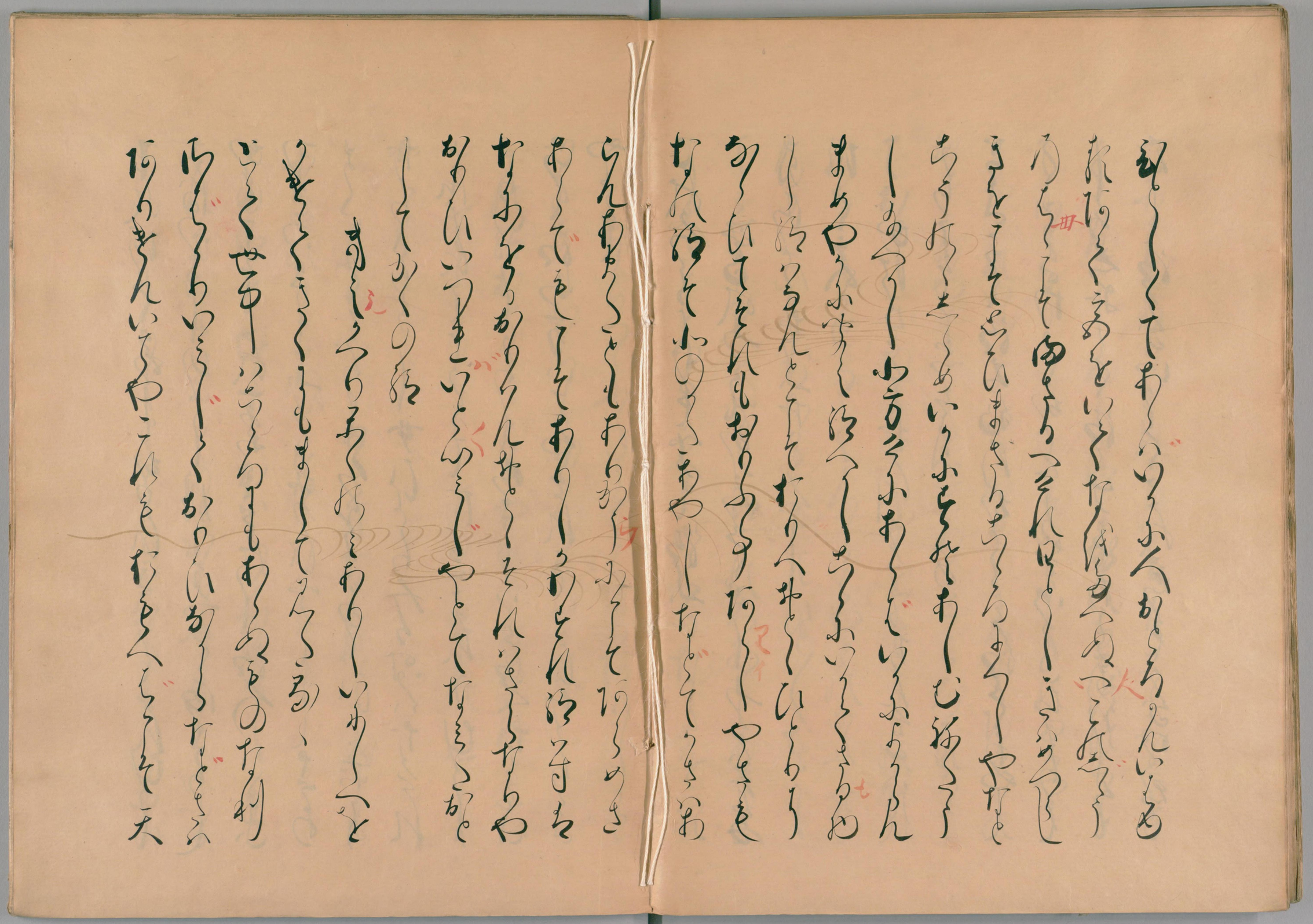
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用

まれもしいくらかりにありかくのみには
をり
おかりけりえてにこもれりもはなく
なくしもとももみをすぞいらまし
ざくりけりおとつこれをまれかくを
てまへりまへにてなくまへりけりくまゐらせて
わたもしてつをみゆましきぬみなとてはき
むとしはつるはゆのよ
人よまあなきことれりとたまるまでといふ
てそはまうまりけりとらるへん

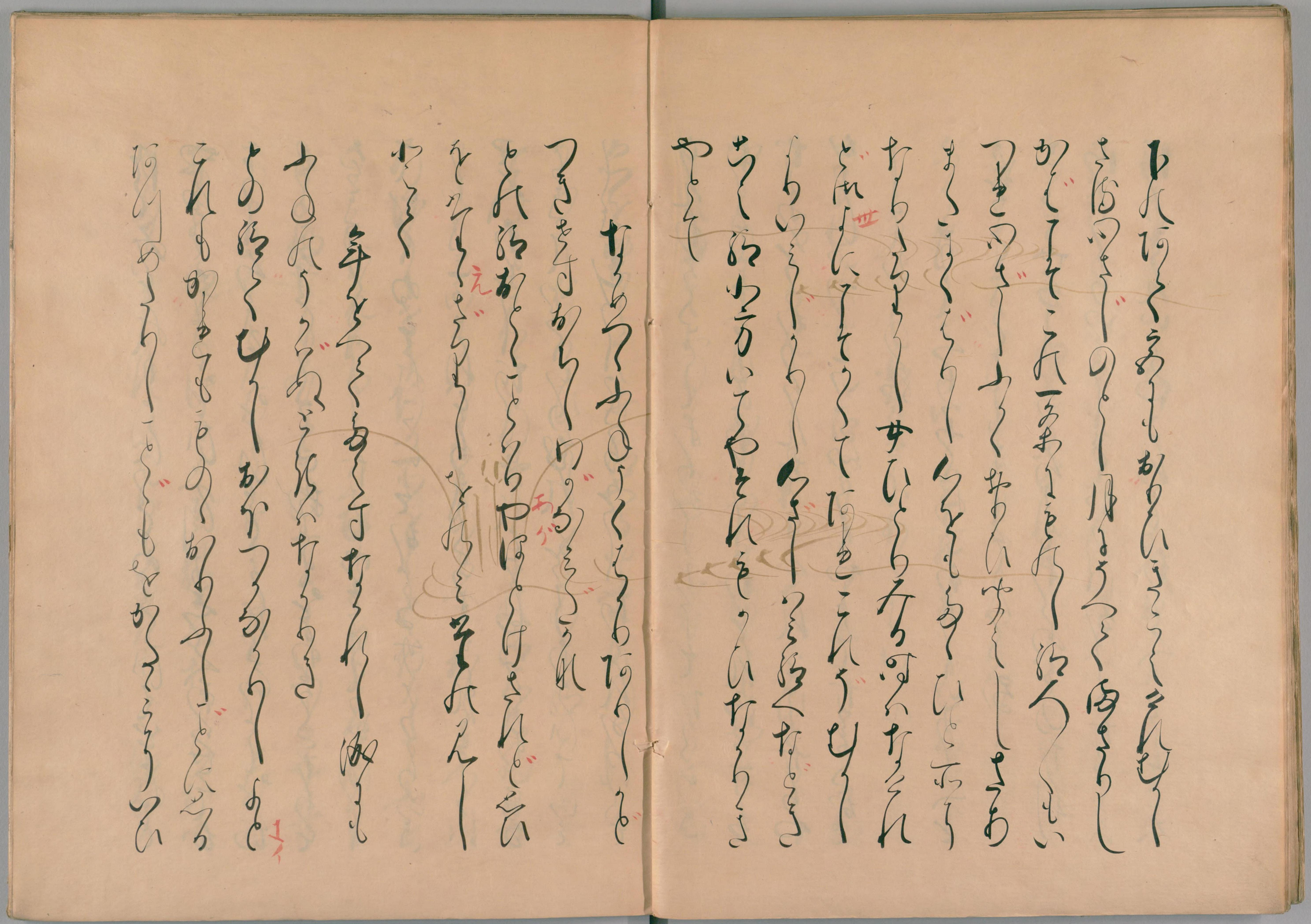
まいのことくはずゆきしまはさかくてこて
あり
玉きの家にとまりぬるをのこしくて
むるしきかともたらぬつきかれ
いれぬしたちねかくるしまかしはき
ふりかわきたちとれはくりてちかきみを
かみちもうりなとみなものしはくんやら
はとこころあわりたるなきたまてしこれにたゐる
あられ母ながらとすくなりしてくやとは
ふたはおやしく世中にとはくすぎゆく

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

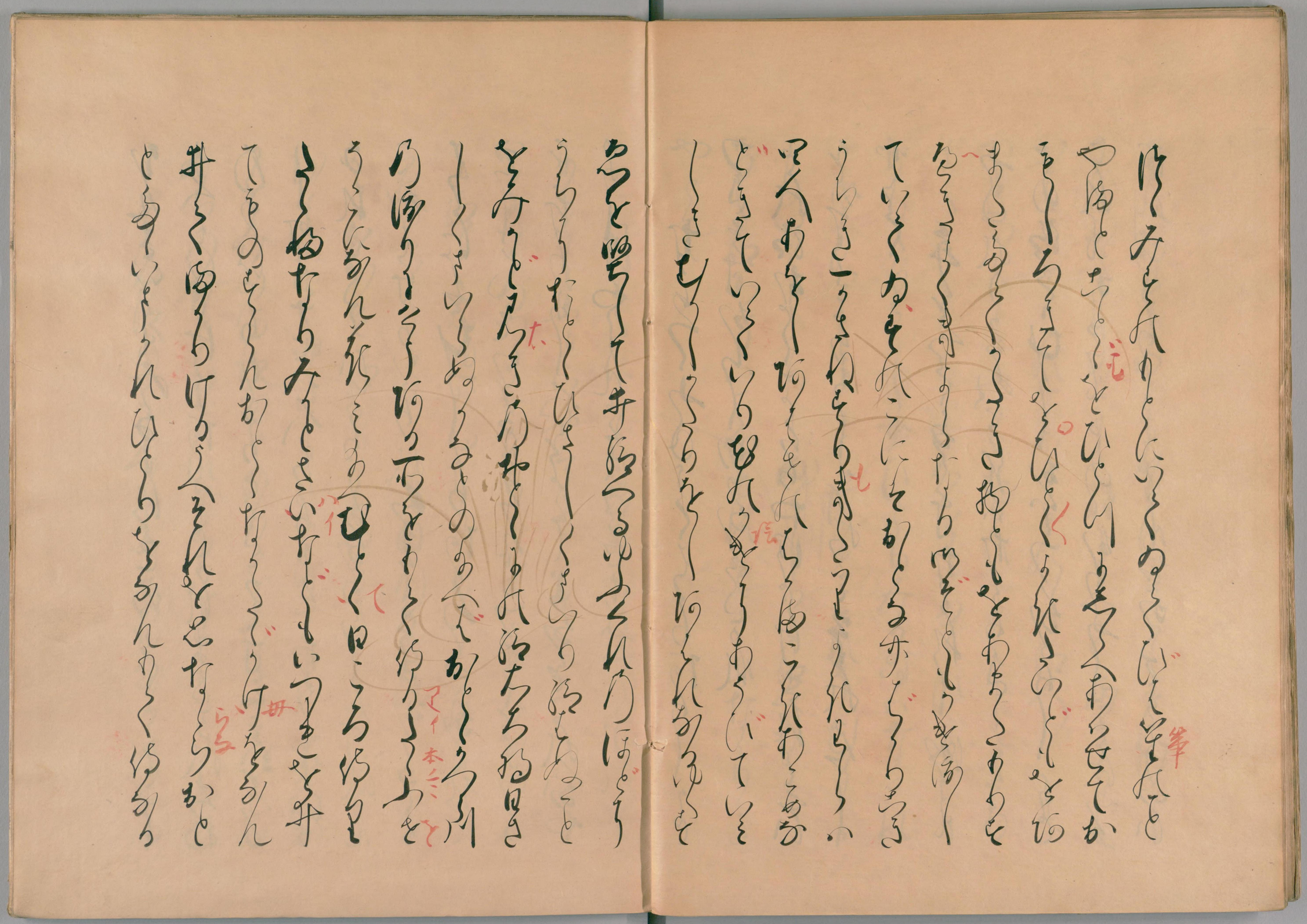
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5　ガラス使用



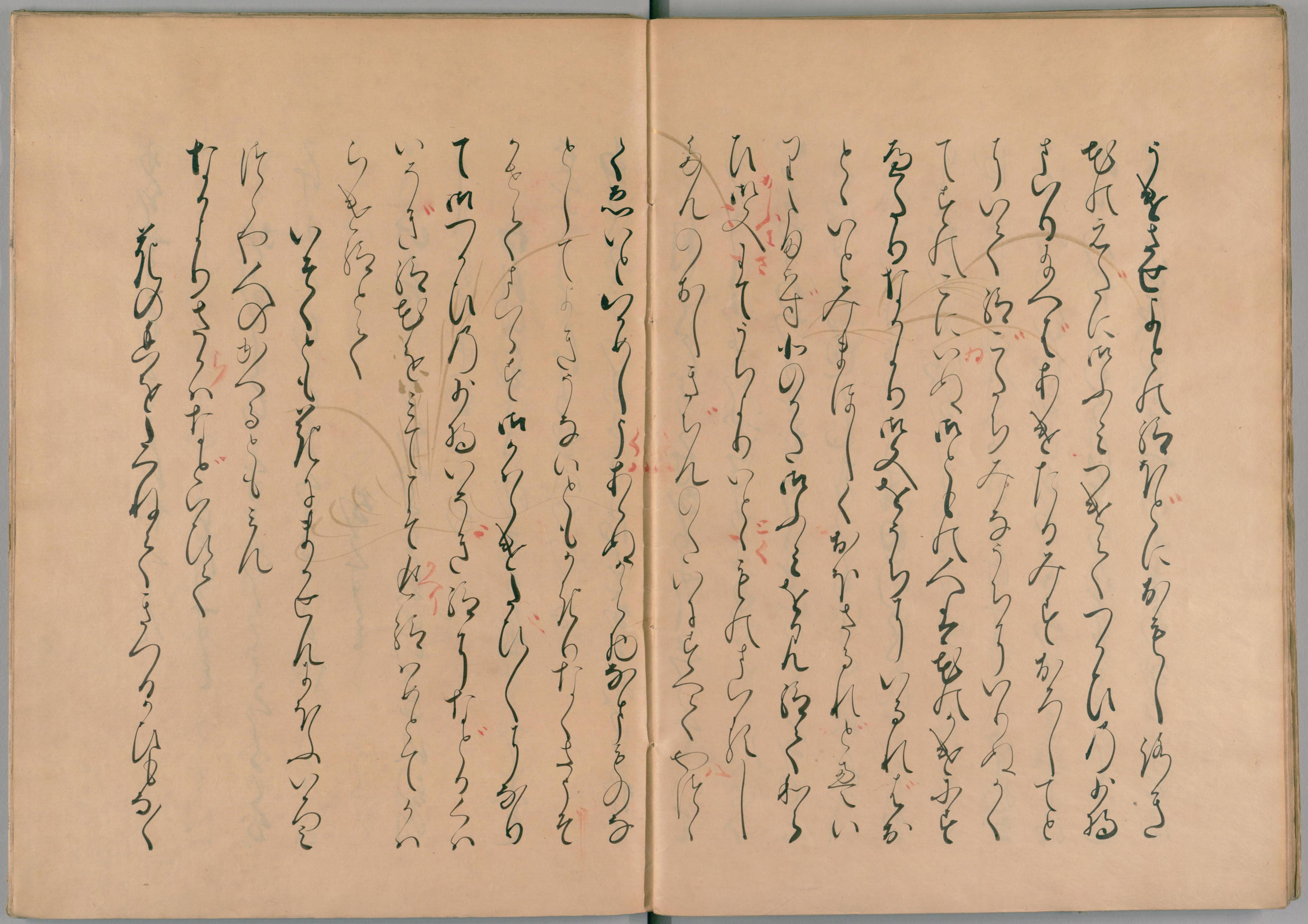
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用



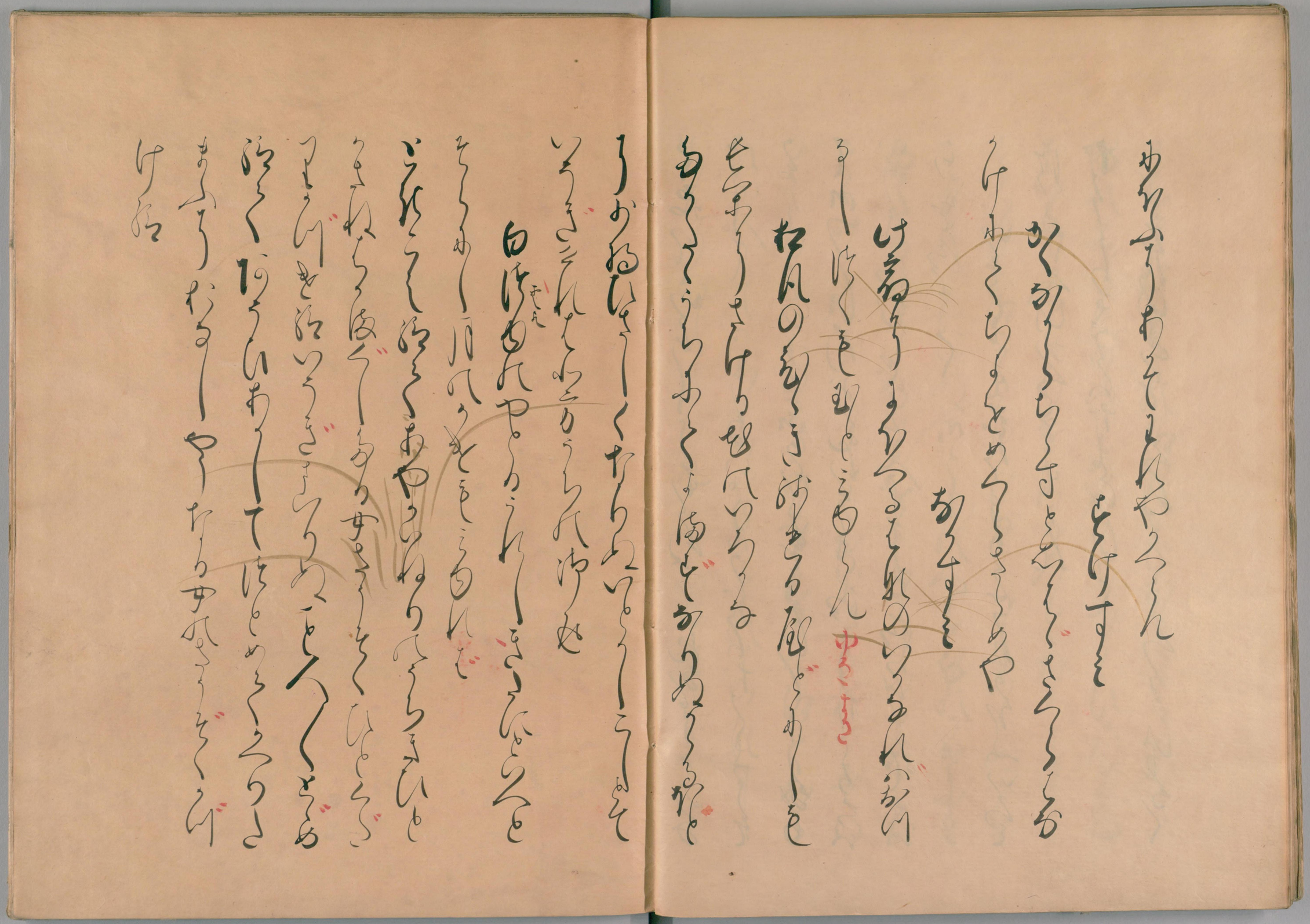
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5　　ガラス使用

おんさいとしみなみにはをゆくとそこうて
あそびとけうけるとしられまうこうれたる
りめいはらわうらときこうしすこしあとさる
しかも十七八人ならりまへてわりしをいう
あれなうてはらうまかりふんちのれ
こおとすりいだりの人そてきよおうそうり
ちかにてそもしゆうふゆあるあかくなて
えうしへそいうくえんとこつしやもうて
をなりめし人をとてよかるこれ人なや
ましうやらんとてしうとせみふ

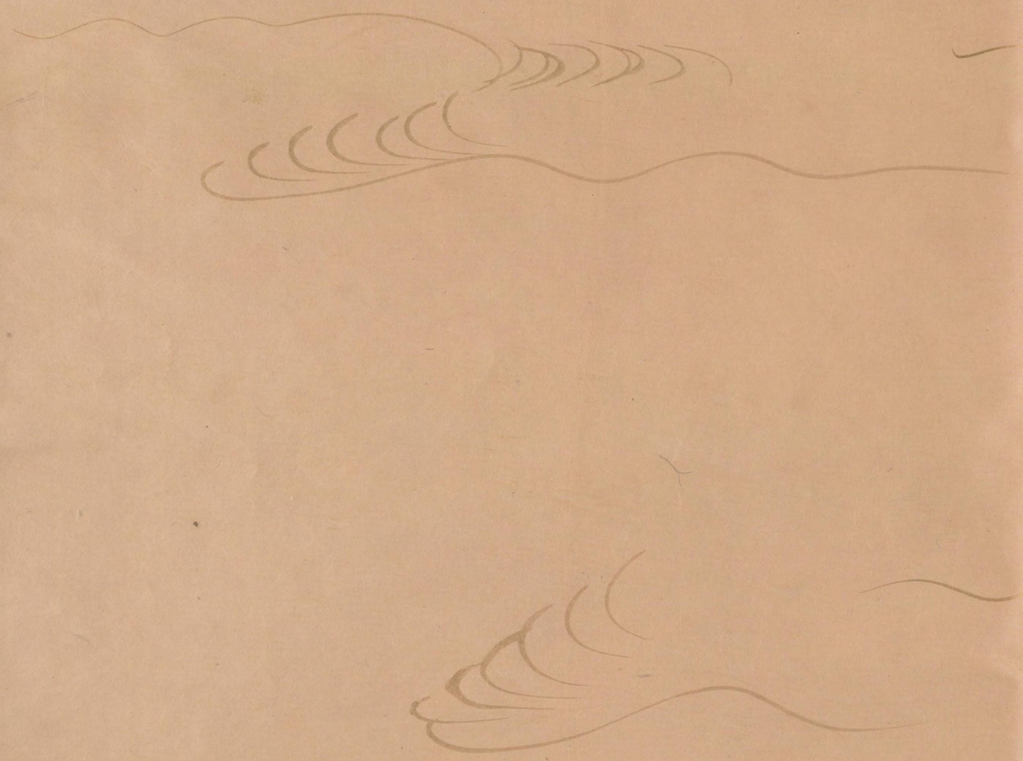
月おもしろくすかりかりしきてもしのそ
あそうしふともいふそまつとゝら
いとおもしろきすまをたりしをいとくつかとふ
こさらにく左近かねたうりにこれみれは
らへいたへてものして内のうちにおこって物
よとかりを侍あらはいそきて侍うく
御まかくゆきまきさをけすすみ中ねか
うとみの侍従かとのりくさうてまうてはた
みちのかとおちいてらのそとまうしそ
して侍従のまうとりこはそあかりりゆやちをは



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用



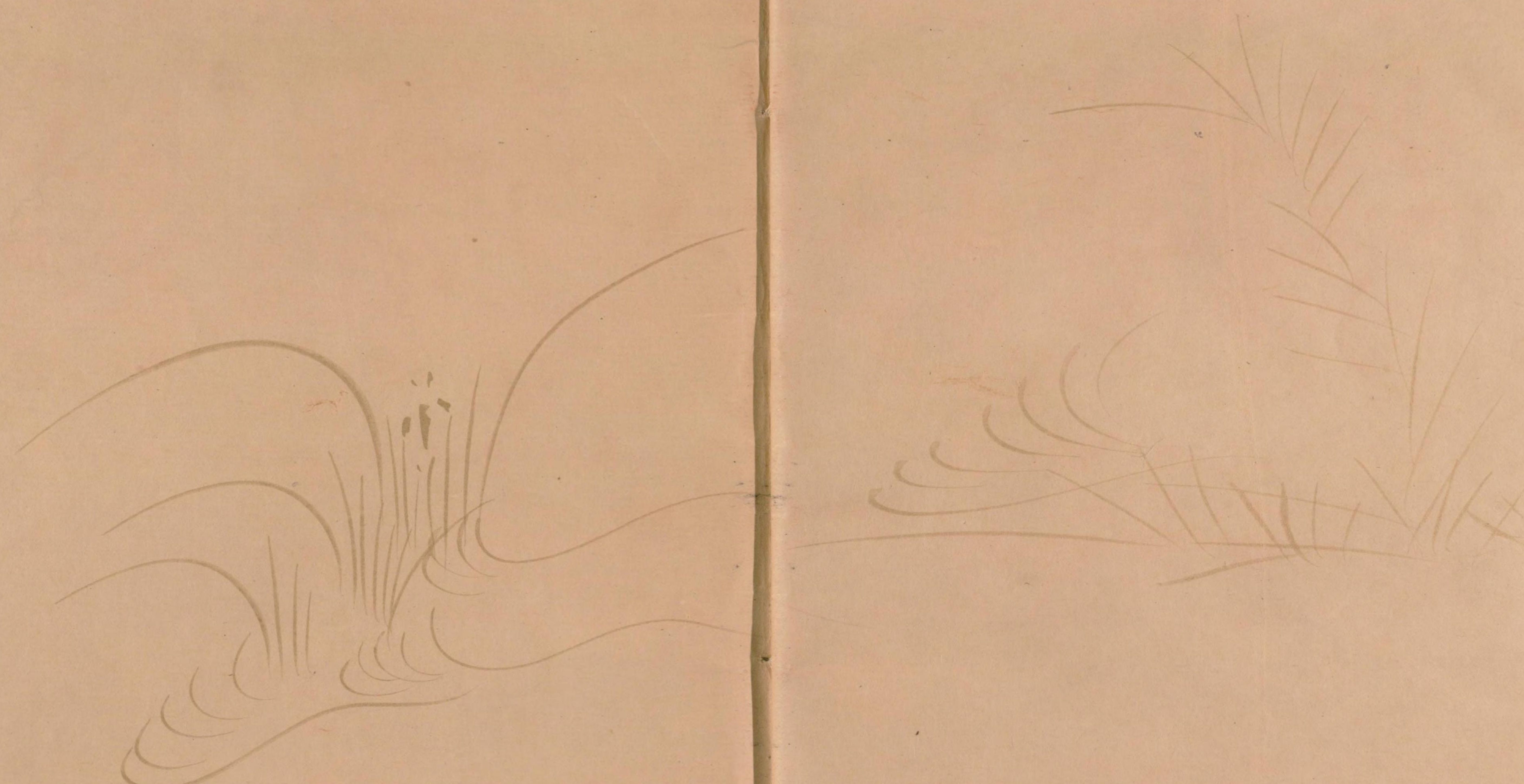
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 ほ-5

ガラス使用

ほ
21
5

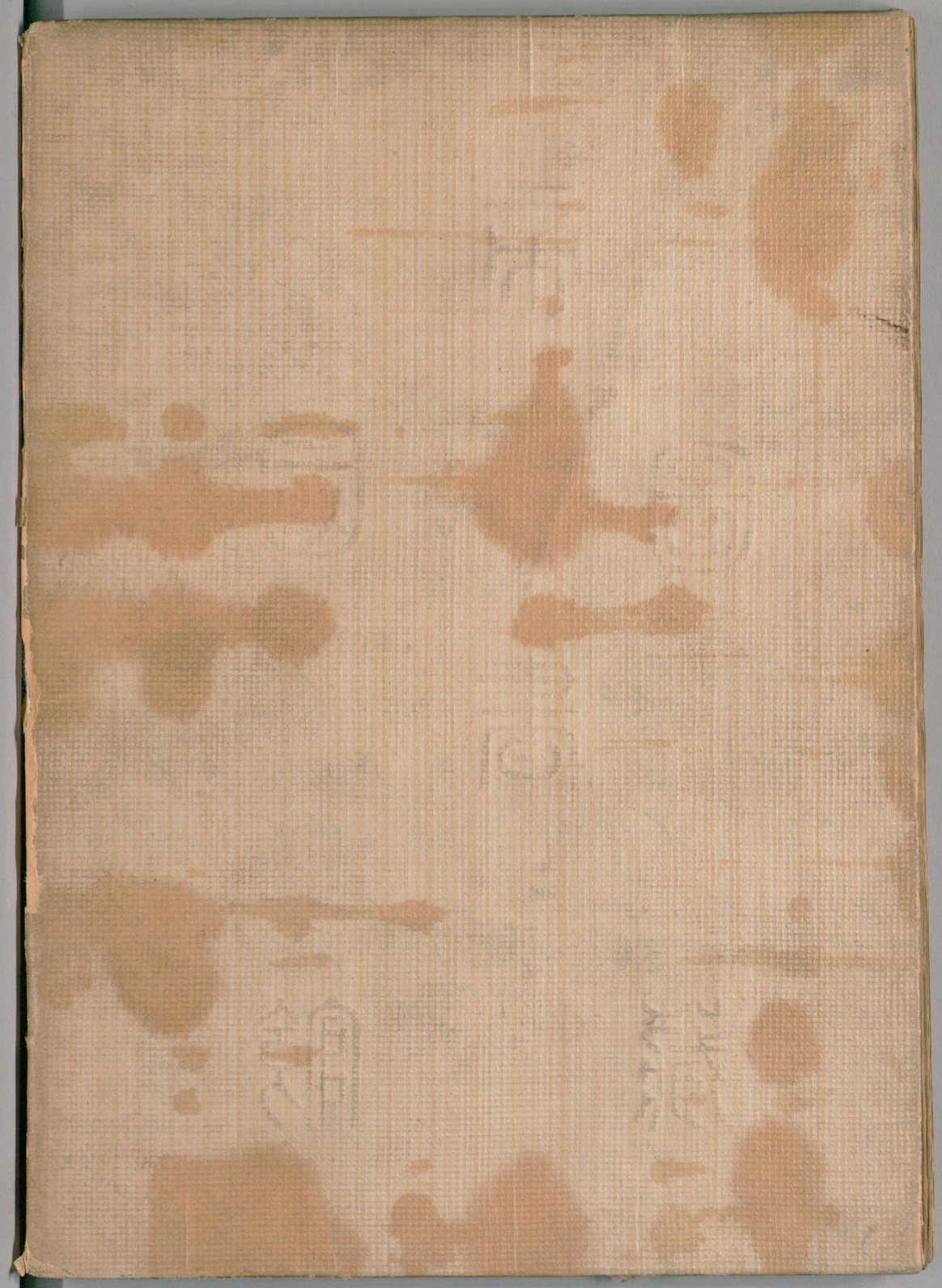


国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 ほ-5
ガラス使用

ほ
21
5

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 ほ-5

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 ほ-5

ガラス使用